

「24時間介護保障を求める熊本訴訟」

御協力・御支援のお願い

——自分らしく、当たり前に生きるために…

皆さんの力をかしてください——

板見陽子さんは45歳。重度の身体障害と重い内臓疾患を抱えながら、熊本市内で一人暮らしをしています。認定心理士として働いていますが、生活していくためには、24時間の介護と見守りが必要です。

現在、市から支給される介護の量は17時間、不足の時間分は自費でまかなわざるを得ない状態が続いています。市には「重度の障害があっても地域で安心して暮らせる、一人一人に合った公的介護量支給」を毎年要望してきましたが、今も実現していません。

自身も40代半ばを越えた今、このままでは将来どころか明日の命さえつなぐことがおぼろしくなる…板

見さんは24時間介護支給を求めて訴訟を起こすことを決めました。今秋から裁判が始まる予定です。

私たちは、板見さんを支え、また彼女と同じ思いをしておられる方々と一緒に考え行動していく、そんな場があればと「24時間介護保障を求める会」をつくり会員を募ることにしました。裏面には板見さん自身の文章を載せています。ぜひ読んでいただき、訴訟への支援と本会への加入をいただけたらと思います。

24時間介護保障を求める会・代表 樋口陽子



<呼びかけ人>

江島真弓（社会福祉法人グリーンコープ 小規模多機能ホームほのぼの・長嶺 管理者）

平野みどり（特定非営利活動法人DPI（障害者インターナショナル）日本会議・副議長）

倉田哲也（くまもと障害者労働センター 代表）

日隈辰彦（特定非営利活動法人ヒューマンネットワーク熊本 代表）

花田昌宣（熊本学園大学 教授）

第1回公判の日程が決まりました！！

10月28日 10時10分 熊本地方裁判所

24時間介護保障を求めます

板見陽子

私は重度の身体障害があり、2歳の時から手足が不自由で、排尿障害と慢性呼吸器不全といった疾患を抱え、夜は人工呼吸器を使っていて、喘息の発作もあります。

そのため私の生活には、毎日、ほぼすべての時間、誰かの付き添いが必要になります。一人の人間として社会の中で当たり前に生きていくためには、24時間の介護が必要なのですが、これまで毎年市に要望してきたものの、まだ実現していません。

私は現在、認定心理士として病院や児童福祉施設で働き、利用者の相談に応じる一方、週3回のリハビリと通院、訪問看護を受けながら、生まれ育った町で自立生活を続けています。仕事も複数の職場に通っていますので、これでなかなか多忙な毎日を送っています。

熊本市は全国的に見ても、重度の障害者が生きにくい町ではないかと思います。私が一人暮らしをはじめて今年で12年になりますが、24時間介護が必要なため、実家の近くに住み、福祉サービスの不足分(私の傍に誰もいない時間)は親の手を借りて、何とかギリギリ生きています。でも、私も40半ばを過ぎ、親も高齢になり、今までのようなわけにはいなくなってきました。私も親も不安が募っています。

「重度の障害があっても地域で安心して暮らせる、一人一人に合った公的介護量支給」の必要性を、毎年熊本市に要望していますが、市は私たち障害者の意見に耳を貸す気もないようです。行政にしてみれば「業務」であり、次の担当者に引き継げばいい「作業」かもしれませんが、私たちには時間がありません。いつまでも堂々めぐりをしているわけにもいきません。

そこで、私としては、親がまだ元気なうちに24時間介護の支給決定が認められるよう、訴訟に踏み切ることを決めました。今回の訴訟では、熊本の弁護士7人による弁護団がつくられ、「介護保障を考える弁護士と障害者の会 全国ネット」のサポート等も受けながらあたることになります。また「特定非営利活動法人ヒューマンネットワーク熊本」の全面的な協力・支援をいただいている裁判になります。

私自身が緊急に24時間介護支給を必要としているのはもちろんのことです。それが、訴訟を起こす一番の理由です。同時に、私のように介護支給量不足で困っている障害者にも、それぞれに必要な時間数の介護制度が使えるようになることが目的です。

私のような思いをしている方はたくさんいらっしゃると思います。この訴訟をきっかけにさまざまな方たちとめぐり合い、私も励ましてほしいし、人それぞれに抱える問題のこれからについても互いに相談し、協力ができたらという思いもあります。そういう場があればどんなにいいかと思います。私の裁判後、訴訟に踏み切る方も出てこられるかもしれません。そうすると、問題になるのはやっぱり費用のことだと思います。

こうした2つの理由から、この裁判を契機に「24時間介護保障を求める会」を立ち上げ、会員を募ることになりました。「各々に合ったサービスを受け、自分らしく生きていける社会」に向けて、多くの皆さんに賛同していただけたらと願っています。

24時間介護保障を求める会 年会費 一口3000円

郵便振替 01700-3-139232 樋口陽子

連絡先 TEL 090(9405)1794

FAX 096(338)3262

E-mail:24kaigo@sc.kcn-tv.ne.jp